

今日も「一丁あがり」

第16話

重量1t超！ゴツイ鋼材を加工して、
木材破砕機の破砕ドラムを仕上げよ！の巻



写真1：外径267.4mm×厚さ25mmの丸パイプ



写真2：ガス溶断された厚さ25mmの厚板



写真3：直径130mmの丸棒の旋盤加工

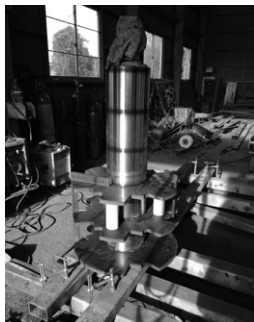


写真4：アーク溶接で仮付けしながら組み立てていく



写真5：仕上がった破砕ドラムをホイストで吊り上げ、愛車・三菱キャンターに積んで納品へ

皆さん、こんにちは！「君は呼吸が全然できてない。胸と腹を使って息をしろッ！」と全体の先生に熱く指導され、とりあえず素直に聞いてスーハー・スーハー大量に花粉を吸い込んでいます。花粉といえば、1月に大盛り上がりした北海道の農家T野さんが「菌体堆肥を作るようになってから花粉症が軽くなった」とメッセンジャーで教えてくれました。食べ物や外部環境を変えたら身体も変化す

るといわれますが、人間の身体って繊細なんだと感じます。片やテレビのニュースはこの時期になると花粉、花粉と連呼しまくりで、そんなに騒がれたら余計に気になっちゃうと思いませんか？ スマホの天気アプリまで新たに花粉情報を配信し始めたので慌ててプッシュ通知を切りましたよ。もう花粉情報ラッシュから解放されたい！！ということを入れて間伐材を花粉ごとバイオマ

ス燃料にしましょう！ 今月は林業機械で木材破砕機のお話。たまにはお隣の業界の話も良いですよ♪

大型部品も恐れずに作るのみ

ロボストスは林業機械の特注部品も作っていて、メーカーの純正部品をOEM供給しています。中小零細の製造業は廃業が進んでいるので、林業機械メーカーも部品の調達に四苦八苦していて、依頼が増えているんです。林業機械は耐久性が求められるので、農業機械と違って

るので、農業機械と違って使用する鋼材はかなりゴツイ！ 直径130mmの丸棒とか、外径267.4mm×厚さ25mmの丸パイプとかを加

工して、木材破砕機の破砕ドラムを仕上げていくわけです（写真参照）。「高垣くん、これを作ってほしい。図面をゼロから起こしてくれ」という依頼にも「OK牧場!! なんとかなるっしょ」と3年前の僕は恐れ知らずで挑戦していました。いま思えば危なすぎますね（笑）。さらにコストの制約もあるので、作り方を間違えれば一発で大赤字。大物部品となれば加工できる工場は限られるので、工程ごとに協力工場を開拓して、半年かけてサブライチエーンを築きました。これまでに30本以上の破砕ドラムを納品してきて、加工のノウハウ以上に収穫だったのは重量物に対する恐れが一切なくなったことなんです。以前に紹介した鎮圧ローラーの修理を朝飯前と感じる理由は、ここにあるんです。難しい依頼にチャレンジすればするだけ技術は磨かれて、度胸も鍛えられていくのかもしれない。

〜〜〜
ということで、今日も一丁あがり



高垣達郎（たかがき・たつろう）
1984年アメリカ生まれ、東京都大田区の町工場街で育つ。2011年に株式会社ロボストスを創業し、農林水産業機械のワンオフ対応を軸に、独自のサービスを構築。A-1グランプリ2011グランプリを受賞。群馬県を拠点に、機械メーカー・ディーラー・農協・農業生産法人など、全国的に取引を拡大している。株式会社ロボストス代表取締役社長。

ば危なすぎますね（笑）。さらにコストの制約もあるので、作り方を間違えれば一発で大赤字。大物部品となれば加工できる工場は限られるので、工程ごとに協力工場を開拓して、半年かけてサブライチエーンを築きました。これまでに30本以上の破砕ドラムを納品してきて、加工のノウハウ以上に収穫だったのは重量物に対する恐れが一切なくなったことなんです。以前に紹介した鎮圧ローラーの修理を朝飯前と感じる理由は、ここにあるんです。難しい依頼にチャレンジすればするだけ技術は磨かれて、度胸も鍛えられていくのかもしれない。

〜〜〜
ということで、今日も一丁あがり